

南さんは、総合的な学習の時間に、「社会で働く上で大切なことを考える」という学習に取り組んでいます。インターネットで情報を集めていた南さんは、電化製品を開発している星野さんの記事に興味をもち、会社を訪問して星野さんにインタビューをしました。次の【インターネットの記事】、【インタビューの前に準備したメモ】、【インタビューの様子】を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

### 【インターネットの記事】

#### 製品開発にかける思い



製品開発部  
星野主任

電化製品を開発するに当たって、最も大事にしているのは、安全性です。お子様からお年寄りまで、どの年代の方も安心して使用できる製品の開発を常に心がけています。しかし、安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたいと考えています。

現在、私は、電気ケトルの開発を担当しています。電気ケトルは、容量が小さく、使う分だけ短時間でお湯を沸かせるのが特徴で、弊社の製品の中でも御好評をいただいているものの一つです。安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しいことですが、よりよい製品をお届けできるように努力を重ねています。

### 【インタビューの前に準備したメモ】

#### 〈インタビューの目的〉

星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にする。

#### 〈インタビューを通して知りたいこと〉

- ・「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。  
①
- ・「安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。
- ・社会で働く上で何が大切だと思うか。

## 【インタビューの様子】

南 青空中学校の南と申します。先日、インターネットで、星野さんの記事を拝見しました。今日は、星野さんの製品開発に対する思いについて、詳しくお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

星野 こちらこそ、よろしくお願ひします。

南 早速ですが、星野さんは、製品開発に当たり「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」とおっしゃっていましたが、そのように考えるのはどうしてですか。

星野 はい。お客様の安全を守るために配慮することは当然なのですが、それだけでは不十分で、お客様のニーズに応じた多様なデザインや、年代を問わず手軽に使用できる利便性が求められるからです。お客様向けのアンケート調査などからも、そういう声が多く聞かれます。例えば、電気ケトルは何かのはずみで倒れる可能性があります。だからといって、倒れにくい形状にすることだけを考えると、デザイン性が損なわれてしまします。私たちが開発している電気ケトルは、デザイン性に配慮しつつも、倒れたときに熱湯がこぼれにくい構造になっています。このようく、安全性とデザイン性との両立を図っています。

南 なるほど、いろいろなことを想定しながら開発しているのですね。

星野 そのとおりです。どの製品を開発するに当たっても、お客様のことを第一に考えています。製品を使用してくださるお客様の期待に応えるために、努力は惜しません。

南 お客様のことを大切にする思いが分かりました。次の質問ですが、先ほど、電気ケトルの安全性とデザイン性との両立についてお話を伺いましたが、安全性と利便性との両立についても、具体的に教えてください。

星野 例えば、利便性との両立という点では、手軽に使うことを重視するお客様も多くいらっしゃるので、電気ケトルの軽量化にも努めています。しかし、軽くするために構造を簡素化すると、手に触れる部分に熱が伝わりやすくなってしまうなど、安全性が損なわれることがあります。毎日、こうした課題の解決に頭を悩ませています。

南

課題を解決するために、星野さんはどのようにしてアイデイアを生み出しているのですか。私は美術部に所属しているのですが、よいアイデイアが浮かばず、作品の制作が滞つてしまつことがあるのです。<sup>(2)</sup>

星野 よいアイデイアはなかなか浮かばないものですよね。そういうとき、私は仲間と話し合うようにしています。年代や経験が異なるメンバーで話し合っていると、一人だけで考えていたときには思い付かなかつたアイデイアが生まれてきます。自分とは異なる考え方や見方を生かすことは、学校でも職場でも大事なことではないでしょうか。

南 確かに、そうですね。他にも、働く上で大切にしていることはありますか。

星野 自分の専門分野以外にも目を向けることです。一つのことになるとわざすぎると、新たな発想は生まれません。様々な発見を大切にしながら働いています。

南 とても参考になりました。質問は以上です。

ありがとうございました。

――南さんの【インタビューの前に準備したメモ】について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 インタビューの目的に沿った質問をするために、知りたいことを整理している。
- 2 質問の内容を相手に明確に伝えるために、言葉遣いや話し方を確認している。
- 3 見通しをもつて話を進めるために、質問に対する相手の答えを予想している。
- 4 話題を広げるために、インタビューの目的とは異なる質問を用意している。

――南さんが【インタビューの前に準備したメモ】に――線部①「『安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい』と考  
えるのはどうしてか。」と書いたのは、【インターネットの記事】のどのような点に気付いたからだと考えられますか。次の1から  
4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 事例は示されているが、星野さんの考えとは内容が矛盾している点。
- 2 事例は示されているが、星野さんの考えが書かれていない点。
- 3 星野さんの考えは示されているが、その理由が書かれていない点。
- 4 星野さんの考え方と理由は示されているが、理由として不十分である点。

三　【インタビューの様子】の一線部②「課題を解決するために、星野さんはどのようにしてアイデアを生み出しているのですか。私は美術部に所属しているのですが、よいアイデアが浮かばず、作品の制作が滞ってしまうことがあるのです。」について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 正しい情報を引き出すために、自分が事前に調査したこととの相違点を指摘しながら質問をしている。
- 2 さらに聞きたい話を引き出すために、星野さんの発言に自分の体験を関連付けて質問をしている。
- 3 一般的な考えを引き出すために、これまでの具体的な事例についての話を整理して質問をしている。
- 4 新たな意見を引き出すために、星野さんとは異なる立場の意見を取り上げながら質問をしている。

四　【インタビューの様子】の□で南さんは、インタビューを通して自分が考えた「社会で働く上で大切なこと」を星野さん

に伝えてインタビューを終えようとしています。あなたなら、どのように話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、一本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1　【インタビューの様子】から、星野さんの話の内容を具体的に取り上げて書くこと。

条件2　条件1で取り上げた内容を踏まえ、「社会で働く上で大切なこと」についてあなたが考えたことを書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使つてもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

